

令和8年度事業計画（案）及び収支予算（案）

1 事業計画（案）

(1) 実行委員会の開催

ア. 総会の開催

- ・第6回：令和8年5月12日（予定）
事業報告、収支決算承認 等
- ・第7回：令和9年3月（書面開催予定）
実行委員会の解散 等

イ. 企画委員会の開催

- ・第8回：令和8年7月～8月（予定）
大会事業の準備状況報告 等

(2) 市町村・団体への支援

ア. 事業経費等の支援

市町村が行う文化芸術振興の取組を支援（よさこい高知文化祭2026開催事業補助金）

イ. トラベルセンターの運営

来県者の宿泊施設や交通手段等を確保するため、トラベルセンターを運営

(3) 実行委員会主催事業の実施

ア. 開会式及び閉会式

令和7年度に策定した実施運営計画書をもとに、開会式及び閉会式を実施

- ・開会式：令和8年10月25日（日）
高知県立春野総合運動公園 体育館
- ・閉会式：令和8年12月6日（日）
新来島高知重工ホール オレンジホール

イ. 地域文化発信事業

本県が持つ文化芸術資源を活用して、交流人口の拡大や地域の活性化につながる広域的な事業を実施

《地域文化発信事業一覧》

No.	事業名	開催日	会場	事業概要	障害者 芸術・ 文化祭 事業
1	総合プログラム ～高知が誇る 文化の祭典～	10月31日（土） ～11月1日（日） ほか	県内東部、 中部、西部の 3会場	これまで触れてこなかった文化・芸術に触れるきっかけとするため、ステージでの実演やブースでの紹介・体験等、分野の垣根を越えた様々な文化・芸術を集めた複合的なイベントを開催。	

No.	事業名	開催日	会 場	事業概要	障害者 芸術・ 文化祭 事業
2	植松伸夫と音の 冒険 (仮称)	11月23日(月)	新来島高知 重工ホール	ゲーム音楽のベートーベンと称される高知市出身の植松伸夫氏によるシンポジウムを開催するとともに、県内で活躍している交響楽団による、ゲーム音楽の生演奏を披露。	
3	カルチャー コレクション 「カルコレ」	1月15日(木) ～12月6日(日)	県内各地	本大会に参画する文化施設や観光施設、関連イベント等への参加と周遊を促進するデジタルスタンプラリーを開催。	
4	まんが体験イベント (仮称)	10月下旬 ～11月下旬 (調整中)	県内東部、 中部、西部の 3会場	本県出身の漫画家村岡マサヒロ氏を講師に、絵やまんがを楽しむことができる体験ワークショップを開催。	
5	デジタル ミュージアム (仮称)	10月下旬 ～12月上旬 (調整中)	(調整中)	世界的に著名な芸術作品と高知を代表する文化をテーマとした没入型のデジタルミュージアムを開催。	
6	まんが大賞作品展	10月上旬 ～12月6日(日) (調整中)	高知龍馬空港	まんが文化の更なる魅力発信を図るため、「よさこい高知文化祭2026まんが大賞」の受賞作品展を開催。	
7	“心踊る”イチオン 文化展	10月上旬 ～12月6日(日) (調整中)	JR 高知駅	“心踊る”地域文化グランプリで1位となった県内34市町村の魅力ある文化を紹介するパネル展を開催。	
8	原画ポスター 公募作品展	10月下旬 ～12月6日(日) (調整中)	イオンモール 高知	大会の更なる盛り上げを図るため、広く公募した大会ポスター第2弾の受賞作品等を展示する作品展を開催。	
9	【昭和100年記念】 文化になった 特撮～未来の クリエイター につなぐ 創造する力～ プロジェクト	10月10日(土) ～12月6日(日)	高知市、 南国市	次代を担うまんがやアニメクリエイター人材の育成につなげるため、「特撮」の技術と創造性に注目し、その歴史や作品の展示、第一線で活躍する監督らによるトークイベントやワークショップ、色あせない昭和の特撮やアニメ映画上映会などを実施。	
10	障害のある方の 世界観を理解する プログラム 「わからなさに 寄り添う」	10月17日(土) ～11月27日(金)	県内3カ所	大会を通じて、大きなテーマとして「世界観」を設定し、さまざまな障害のある方がどのような世界で生きているのかを作品を通して想像できるような展覧会やイベント等のプログラムを展開。	○
11	どんどこ！ 巨大紙相撲 ～よさこい高知 文化祭場所～	【巡業及び地区 予選大会】 令和7年 9月18日(木) ～令和8年 9月26日(土) 【本場所】 11月29日(日)	【巡業及び 地区予選 大会】 県内全域 【本場所】 東洋電化 中央公園	巡業と銘打った巨大紙相撲力士の制作ワークショップ及び地区予選大会を県内4つのブロックに分けて実施し、地区予選大会を勝ち抜いた代表力士による本場所を開催。	○
12	障害のある方と 音楽をつなげる プロジェクト	11月28日(土)	高知市	日頃音楽に触れる機会の少ない方等に対して、音楽を通じた自己表現の場やコミュニケーションの機会を提供することにより、感情表現や個性、魅力を引き出し、心豊かに生活するための一助とする。	○

No.	事業名	開催日	会 場	事業概要	障害者 芸術・ 文化祭 事業
13	みんなで謳おう 踊ろう叩こう プロジェクト	11月28日(土)	高知市	手作り太鼓など音の出る楽器を持ち寄り、障害の有無にかかわらず、みんなで楽しく歌い、演奏し、踊るイベントを実施。	○
14	「心踊る、 文化咲く」 フェスティバル	11月28日(土) ～11月29日(日)	東洋電化 中央公園	「どんどこ！巨大紙相撲～よさこい高知文化祭場所～」の本場所と合わせて、障害のあるなしに関わらず、誰もが楽しく参加できるバリアフリーなイベントを開催。	○

(4) 広報活動による気運の醸成

ア. PRイベント等の開催

広報大使によるトークショーや文化芸術団体(伝統芸能、伝統工芸、食文化等)のステージ出演、ブース出展、文化体験等を通じて、文化芸術の魅力を発信するとともに、開催気運の醸成を図る。

イ. 街中ジャック、メディア等の活用

大会に向けた気運を高めるため、電車やバスへの大会キービジュアルデザインのラッピングや、JR高知駅や高知龍馬空港等をキービジュアルデザインで彩る「街中ジャック」を実施するとともに、テレビCM、新聞・SNS広告など、メディアを活用した広報活動を行う。

ウ. 広報大使による情報発信

- ・ 広報大使の知名度を生かした情報発信、広報活動に取り組む。
- ・ 特に、SNSでの発信を通じ、若年層に対して大会をPR。

エ. 県民の参加促進

- ・ 広報ボランティア「よさぶんひろめ隊」のより一層の募集により、県民の方々の参加促進を図る。
- ・ 各市町村等が実施するイベントにおいてブース出展を行うなど、大会の情報発信に取り組む。

オ. ガイドブック等の制作・配布

大会情報を取りまとめたガイドブックや広報グッズの制作・配布を行い、大会の周知を図る。

(5) その他

ア. 大会公式記録の制作

大会の成果等をまとめた公式記録を制作する。

イ. 経済波及効果の算出

大会の開催による経済波及効果について算出する。

2 収支予算（案）

（１）収入の部

（単位：千円）

項目	予算額	摘要
1 負担金	788,255	・高知県からの負担金
2 国委託金	214,000	・文化庁からの委託料
3 協賛金	13,020	・企業、団体からの協賛金
4 前年度繰越金	37,114	・令和8年3月10日時点見込額 (※決算承認と同時に確定値に更新)
計	1,052,389	

（２）支出の部

（単位：千円）

項目	予算額	摘要
1 実行委員会運営費	1,429	・総会、企画委員会の開催 等
2 市町村・団体支援費	144,844	・よさこい高知文化祭2026開催事業補助金 ・トラベルセンターの運営 等
3 国民文化祭事業費	440,833	・開会式及び閉会式の実施 ・実行委員会主催事業（国民文化祭関係）の 実施 等
4 全国障害者芸術・文化祭 事業費	70,500	・実行委員会主催事業（全国障害者芸術・文化 祭関係）の実施 等
5 広報費	116,224	・PRイベント等の開催 ・街中ジャック、メディア等の活用 ・ガイドブック等の制作・配布 等
6 事務局運営費	64,559	・事務費 ・大会公式記録の制作 ・経済波及効果の算出 等
7 県への精算金	214,000	・文化庁からの委託料の精算
計	1,052,389	

※令和8年度高知県当初予算議案に係る県議会の議決をもって有効とする。